

児童発達支援保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年5月20日

事業所名：ステップサポートなかがわ

保護者等数(児童数)：8(8) 回収数: 8 割合:100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					・今後もその都度、環境設定の見直しを行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			1		・これからも継続していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8					・今後もより良い設備等の検討をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7			1		・これからも継続していきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8					・これからも継続していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			1		・ガイドラインを参考にしながら、子ども一人一人の姿に合った支援内容を設定しています。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					・支援会議や日々の朝礼終礼の中で支援について話をし、スタッフ間で共通理解を持ちながら支援を行っています。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8					・固定化されないように毎月、職員同士で意見を出し合って活動プログラムを決めています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			2	6		・保育所等を併用している方が多いため、特別にプログラムは設けていません。
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					・これからも継続していきます。
保護者への説明等	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	7	1				・支援計画作成時と更新時に支援内容について説明を行っています。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	1		1	6		・プログラムとしては行っていませんが、個別の相談に対応しています。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるているか	8					・これからも継続していきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8					・これからも継続していきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1		4	3		・今後実施に向けて検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	8					・これからも継続していきます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					・これからも継続していきます。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	4		1	3		・SNSにて活動の様子を発信しています。

	(19)	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	8				・これからも十分に注意していきます。
非常時等の対応	(20)	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	8				・これからも継続していきます。
	(21)	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7		1		・毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災学習を取り入れています。
満足度	(22)	子どもは通所を楽しみにしているか	8				・今後も楽しんで通所してもらえるように努力していきます。
	(23)	事業所の支援に満足しているか	8				・今後も満足していただけるように努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

**児童発達支援事業所における自己評価結果(公)**

討議年月日：令和6年5月20日

公表：令和6年5月20日

事業所名：ステップサポートなかがわ

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・適切です。	・引き続き適切な環境を維持していくために、物の配置や環境設定に配慮し、支援を行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切である	○		・限られた職員数でいるか、利用予定数を鑑みた上でシフト調整することでカバーされています。	・配置数の他にも、同性介助などに配慮して勤務の調整をしています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・利用者の姿に合わせて、その都度、職員間で話をして環境を見直しています。	・視覚情報として矢印や時計の表を教室に掲示しています。また勉強に集中できるよう、勉強スペースとあそびスペースを分けるなどの配慮をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		・空気清浄機や加湿器などを使用し、清潔な環境を維持しています。	・毎日の掃除や消毒をこれからも徹底していきます。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・朝礼や終礼、スタッフミーティング等の実施により、全職員が確実に参画できる環境を整え業務に活かしています。	・これからも継続していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施しています。	・評価表を通して保護者等の意見を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施し、自社のホームページ及び名古屋市子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・これからも継続していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・行っておりません。	・導入に向けて検討中です。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社内外で研修を行っています。	・これからも定期的に研修を行い、職員の資質向上に努めています。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・モニタリングや支援会議の実施の上で作成しております。	・これからも継続していきます。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するためには、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを利用し、利用者の状況を把握しています。	・毎年アセスメントシートの内容を確認し、その都度適した項目を検討しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・ガイドラインに沿いつつ、利用者の姿に合った具体的な支援内容を設定しています。	・支援計画書の説明の際に、支援内容について保護者の方にもわかりやすいようにお伝えしています。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		・支援会議で支援内容の共有をし、支援を行っています。	・これからも継続していきます。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・立案はスタッフ全員で行い、最終的に担当者が案をまとめています。	・利用者の興味関心やスタッフの得意な分野などからプログラムの立案を行っています。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・固定化しないよう、プログラムの改善やスタッフの意見を取り入れています。	・利用者の興味関心の幅が広がるように、プログラムの改善や新しいプログラムの導入を随時検討しております。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		・個別活動と集団活動を組み合わせて作成しています。	・これからも継続していきます。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日の朝礼にてその日の活動内容や利用者の支援について話し合い、確認しています。	・これからも継続していきます。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日の終礼にてその日の支援の振り返りや、気になった利用者の姿についてなどを共有しています。	・共有するだけではなく、利用者の問題行動などがあった時には対応や改善策を考えています。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・終礼で話し合った内容をその都度記入し、記録に残しています。	・これからも継続していきます。
	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に一度、モニタリングを実施し、計画内容の見直しを行っています。	・利用者の特性を理解した上でサービス計画を立案できるよう、努めています。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	<input type="radio"/>	・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	・行っています。	・これからも継続していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	<input type="radio"/>	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	<input type="radio"/>	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしていません。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	・相談員とのやりとりやサービス担当者会議で情報交換を行っています。	・これからも継続していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	<input type="radio"/>	・特に移行支援としては行えていませんが、先生と日々の生活等の情報交換を行っています。	・学校との情報共有をし、移行支援をスムーズに行えるように準備していきます。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	<input type="radio"/>	・現在は行っていません。	・今後スムーズな連携ができるように環境を整備していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	<input type="radio"/>	・現在はそういったプログラムは企画していません。	・現状そのような機会はありませんが、今後情報収集をしていき、検討したいと思います。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	<input type="radio"/>	・多忙のため参加できていません。	・今後仕事を調整して、積極的に参加していきたいと考えています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	<input type="radio"/>	・連絡帳や送迎時の会話を通じて保護者と情報交換をし、利用者の理解を深めています。	・これからも継続していきます。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	<input type="radio"/>	・集団のプログラムとしては行っていませんが、個別の相談に応じ、支援しています。	・保護者の方に参加いただける勉強会などの実施も検討していきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>	・契約時に説明をしています。	・保護者から質問が出た場合、その都度丁寧に説明していきます。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>	・支援計画作成時と更新時に支援内容について説明を行っています。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>	・相談があった場合は連絡帳や送迎時に対応しています。要望があれば電話や面談にて対応をしています。	・これからもより良い支援ができるようにスタッフの資質の向上に努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	<input type="radio"/>	・保護者会等の開催はありませんが、スタッフが間に入り、必要な情報を共有できるようにしています。	・ご要望に応じて開催の方法を検討していきます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあつた場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>	・個別の相談があつた場合には職員間で話し合い、速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>	・SNSにて活動の様子を発信しています。	・より多くの方に見ていただけるように周知していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>	・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に個人情報の取り扱いについて職員間で確認していきます。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>	・構造化や情報の図示などをしています。	・配慮事項を職員間で共有し、スムーズに意思の伝達が出来るようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	<input type="radio"/>	・現在は行っていません。	・今後開催ができるように方法を検討していきます。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>	・定期的に作成し、訓練も実施しています。	・これからも継続していきます。

非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも利用者の方が非常災害を身近に感じ、自分で考えられるような訓練や学習を実施していきます。</li> </ul>
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めに保護者から情報を得ています。日頃の様子については、連絡帳等で保護者から情報を得ています。坐薬保管が必要な方には医師の指示書をいただくよう伝えています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからも継続していきます。</li> </ul>
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からアレルギーの情報を得て、対応方法も確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要であれば医師の指示書をいただくように対応します。</li> <li>・職員間での情報共有をより進めています。</li> </ul>
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各スタッフがすぐに手に取って振り返れるように事業所内に格納してあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒヤリハットがおこってしまった場合には職員間で共有をし、対策を考えた上で書類を作成しています。</li> </ul>
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待になる行為について職員間で確認しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も定期的に職員間で虐待になる行為を確認し、意識の向上を図っていきます。</li> </ul>
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて保護者への事前説明をしっかり行い、支援計画に記載します。</li> </ul>

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。